

## H-IIA ロケット 37 号機及び H-IIA ロケット 38 号機の 打上げ結果(安全確保状況)について(報告)

平成 30(2018)年 3 月 15 日

三菱重工業株式会社

執行役員フェロー 防衛・宇宙セグメント 技師長

二村 幸基

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

第一宇宙技術部門 鹿児島宇宙センター所長

藤田 猛

### 1. 報告事項(打上げ結果概要)

#### (1) H-IIA ロケット 37 号機

気候変動観測衛星「しきさい」(GCOM-C)及び超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)を搭載した 37 号機を平成 29 年 12 月 23 日 10 時 26 分 22 秒(日本標準時)に予定通り打上げ、それぞれ所定の軌道に投入した。なお、37 号機の打上げでは、国際競争力の強化を目的として JAXA が開発した基幹ロケット高度化及び衛星相乗り機会拡大対応開発の成果を適用し、衛星 2 基をそれぞれ異なる高度の軌道に打ち上げる機能を追加した第 2 段機体を使用した。

#### (2) H-IIA ロケット 38 号機

情報収集衛星光学 6 号機を搭載した H-IIA ロケット 38 号機を、平成 30 年 2 月 27 日(火)13 時 34 分 00 秒(日本標準時)に打上げ、所定の軌道へ投入した。

本打上げは、当初平成 30 年 2 月 25 日に打上げ日を設定していたが、前日及び当日の天候悪化が予想されたため、平成 30 年 2 月 27 日(火)に延期したものの。

上記打上げは三菱重工業株式会社が打上げ執行に係る業務を執行し、JAXA は打上安全監理に係る業務を実施した。

### 2. 安全確保業務の実施結果

JAXA は、飛行安全計画、地上安全計画及びその他の要領等に基づき、打上げに係る安全確保業務(射場整備作業の安全、射場周辺の住民への周知、打上げ当日の警戒、ロケットの飛行安全)及び関係機関に対する打上げ情報の通報(ロケット打上げの実施の有無に係る連絡、航空機及び船舶の航行安全のための事前通報並びに打上げ情報の周知)を行った。



H-IIA・F37 打上げ



H-IIA・F38 打上げ

投棄物(SRB-A、衛星フェアリング、第1段機体)については、全て設定した落下予想区域内に落下したと推定している。

なお、38号機の打上げ作業において、コマンド局の不具合発生に伴う、送信出力の変更、コマンド局の追加、及び本件に対する安全評価を実施し、安全上問題ないことを確認したのちに打上げを実施した。

### 3. 次号機以降への対応

JAXAは、1月16日(火)にH-IIAロケット37号機の打上安全監理終了審査を実施し、打上げの評価を行い、次号機以降への反映事項を抽出した。上記審査において、安全確保にかかわる反映事項については特段発生していない。

今後、H-IIAロケット38号機の打上安全監理終了審査にて38号機の評価を行い、次号機以降への反映事項の抽出を行う。なお、速報としては安全確保にかかわる反映事項は、上記コマンド局の不具合対策を除き発生しない見込み。

抽出された反映事項については、次号機以降に向けて処置を行う。

以上